

Aグループ

スタッフ

- ・司書さんらしくない司書さん。
- ・子どもお年寄りのことが分かっているスタッフ。
- ・目的の本がすぐに見つかる本棚の色形。
- ・担当司書が決まっている。本を返しに来る時、次のおすすめ本を用意してくれる。
その他相談（注 図書館法との兼ね合い）。
- ・司書がそれぞれ自分の棚を持ち、責任を持って担当する⇒司書のモチベーション&サービス向上。
- ・市民司書を置く。自ら本を選んでおく。
- ・運営でこけたらみな同じ

運営内容

- ・新しい発見ができる場。
- ・“未来ラボ”の設置。東三河の将来について学べる、考える、語れる場。
- ・市民の意見が反映できる場。
- ・欲しい本の取り寄せ。
- ・動物と一緒に入れるスペース。
- ・外国の人が来たくなる図書館。
- ・ショッピング中休みながらリラックスして過ごせる空間、カフェ、ソファ。
- ・本が多少破れてても問題なし。
- ・イベントなどに振り回されない図書館。
- ・いつでも利用できる。
- ・いろいろな楽しみ方で長時間楽しめる。
- ・夜間も開館。
- ・仕事後、学校後に寄れるため、夜の時間は延ばすべき。
- ・昼：主婦 夕方：学校帰りの人 夜：仕事帰り

コンセプト

- ・シンボルがあること。そこにフリースペース。
- ・水槽がある。
- ・いままでの図書館らしくない図書館。
- ・他の施設とは似ていない図書館。
- ・水の音のする図書館。
- ・風を感じる図書館。
- ・香りのする図書館。
- ・近隣の住人がうらやましく思う図書館。

建物

- ・たたみの上で本が読める。
- ・子どもが走り回っても基本OK。
- ・しずかな場所とうるさくてもいいスペースがある。
- ・ゾーニングがうまくできていること。
- ・友だち、家族と楽しめる。
- ・ココニコと協力して子ども図書館を。2つのうち、1つのフロアを児童室に。
- ・図書館1～2階、まちなか広場及び他周辺施設との流れ、つながりがスムーズになる。
- ・ゆっくりと集中して本を楽しめる空間、静か、ガラス（日差し）、ソファ、カウンター。
- ・ゆったりとした時間が持てる場。
- ・中央や配本より明るくて居心地がよい空間。
- ・仲間とのコミュニティの場に来れる。
- ・市民が建物をつくる。 例)手書きタイルで壁（エントランスなど）

本の内容

- ・特設コーナー。 市内で開催の舞台やイベントなどの関連図書。
- ・専門書がたくさん。 仕事、研究など 学生・社会人
- ・地元の工芸品や特性などが見られる、感じられる空間・設備など。
- ・洋書。
- ・雑誌。
- ・マンガの読める図書館。

感想

- ・A班ユニーク！水の音が聞こえる、滝が流れている、子どもに優しい。
- ・漠然としたアイデアを提案することにより明確になり、さらに完成への期待が高まった。
- ・当たり前だけど、こうして欲しいが様々過ぎるくらいあった。折り合いをつけるのか押しのけるのか、ちょっと面白い。
- ・司書が型にはまった制約にとらわれず、発想と知恵を活かせる図書館がいい。
- ・改めて図書館の事を考えたいと思いました。
- ・運営形態は直営がいいと思います。 市民意見の反映。
- ・楽しいアイデアと仲間ができてうれしいです。 次回も参加楽しみにしています。
- ・最終的に模型にするなり、図面にするなり具体的なカタチにしておかないとインパクトには残らない。
- ・竹島水族館しか近隣に無いので水槽はよい。